

## I. はじめに

1. 農業の先端・成長産業化は、わが国・地域経済社会の活性化に重要。TPP締結や需要拡大により、わが国農林水産物・食品・外食等の輸出・海外展開に好機が到来。政府においても「輸出力強化戦略」等で取組を強化。
2. TPP政策大綱フォローアップ、農林水産物輸出インフラ整備プログラム策定等に向けて、必要な施策を提言。

## II. 基本的な視点

### 視点

- (1) 生産基盤の強化に注力する
- (2) アグリ・フードビジネス全体で稼ぐ

### 政策の 進め方

- (1) グローバル企業の技術・ノウハウを活用する
- (2) 集中的支援により成功モデルを積み上げる

## III. 具体的な方策

### 1. 魅力的な商品の開発・提供のための生産基盤強化

#### (1) 企業参入の促進・経営規模の拡大

- ① 企業参入の促進（農地所有適格法人に対する企業の出資規制の緩和、実績ある企業による農地取得の推進）
- ② 農地集積の強力な推進（農地集積バンク・インセンティブ強化等）

#### (2) 6次産業化、技術・商品開発に関する制度改善

- ① A-FIVE（農林漁業成長産業化ファンド）の制度改善（資本規制の緩和、認定要件緩和、審査の簡素化・迅速化）
- ② 「先端モデル農業確立実証事業」の拡充（継続・普及促進）
- ③ 技術・研究開発の基盤整備（Society5.0を見据えたICT標準化・産学官連携の促進）

#### (3) 安全性・信頼性の向上

GAP取得の促進（GLOBAL GAP普及、JGAPの相互承認加速）  
トレーサビリティの導入促進

#### (4) 加工食品の国際競争力強化

A-FIVEの活用、調整金見直し等

### 2. 輸出環境の整備

#### (1) 通関円滑化

- ① 衛生植物検疫・放射能規制の緩和・撤廃（政府間交渉の加速）
- ② 輸出関連手続きの迅速化（ワンストップ化、特例制度の導入等）
- ③ 各国制度に関する国内向け情報発信の強化（実態の反映等）

#### (2) 物流の高度化・効率化

- ① 物流拠点の整備（輸出用保冷施設、流通・加工施設等）
- ② 物流関連技術の開発・普及（鮮度保持技術等）

#### (3) 輸出市場の開拓・拡大

- ① 効果的なプロモーションの実施（民主導のマーケティング推進、国・県の役割分担、風評被害対策）
- ② インバウンド向けの販売強化（免税店設置等）

### 3. 海外展開支援

生産地の海外展開支援（官民ファンドの活用）  
設備・技術の海外展開支援（技術協力の活用）

## IV. おわりに—経団連の取り組み

「経済界と農業界の連携プラットフォーム」を通じたマッチング促進、和食プロモーションの実施